

重点実施事項

3 アクティブ・メンバーシップの確立による組織基盤の強化

(1) 正・准組合員のメンバーシップの確立

① J A運営への参加参画の促進

組合員向けのアンケートや勉強会・研修会、さらには、事業利用を通じて多様化する組合員のニーズを把握し、J A運動への参加・参画をすすめます。

② 組合員加入運動の展開

総合ポイント制度を充実し、正組合員の次世代や事業利用者の組合員加入を促進します。

③ 組合員の運営参画の強化

総代懇談会、総代研修会、市町村別運営協議会を定期的で開催し、組合員の意見や要望をJ A経営に反映するとともに、准組合員総代制度の定着化をはかります。また、市町村別運営協議会活動の活性化をはかり、農業振興や暮らしにかかる様々な要請活動を行います。

④ 認定農業者および実践的能力者の積極的登用

認定農業者をはじめ、J A経営に能力を発揮することができる理事を積極的に登用し、農業者の所得増大と地域の活性化をめざします。

(2) 多様な広報手段を活用した情報発信の強化

① J A役職員による情報発信

全役職員は「広報パーソン」として、組合員組織活動や支店協同活動に積極的に参加するとともに、組合員や地域住民に呼びかけ、「食」「農」「協同組合」の理解を深めます。

② 情報発信の強化

J Aの広報媒体（あとれ・Book Mark JA・営農情報・ホームページ・情報表示システム・支店だより・日本農業新聞・家の光）を通じて、「食」「農」「協同組合」の情報発信に取り組むとともに、パブリシティ活動やマスコットキャラクターを活用し、やましろ農業とJ Aの魅力を発信します。

③ 農産物直売所を活用した情報発信

農産物直売所を通じて、特産物の料理レシピや栽培方法、農業体験、さらには、J A事業を広く利用者に発信し、「食」「農」の理解と組合員加入による複数事業利用に取り組みます。